

にらさき

26年度予算総額246億円 ……	P2
議決結果一覧表 ……………	P5
ここが聞きたい(代表・一般質問) ……	P6
第1回臨時会 ……………	P12

いざ、甲州軍団出陣



4月5日、甲州軍団甘利備前守虎泰隊は「疾(はやき)こと風の如く 風の6番隊」として、市役所から葦崎駅前までパレードした後、葦崎市民交流センター「ニコリ」前で出陣式を行い、信玄公が待つ甲府駅前本陣に向けて出発しました。

本年は、大将に 市議会議長 清水 一、副将に「ちぼりアンナ株式会社」取締役工場長 神戸 広明 様をはじめ、40人の皆さんにご参加いただき、勇壮な武者姿を披露しました。



葦崎工業高校の太鼓演舞

創部14年目を迎えました葦崎工業高校太鼓部の皆さんに、出陣式を和太鼓の演奏で盛り上げていただきました。



市制施行60周年と、本市の限りない発展を表す∞(無限大)を組み合わせ、将来に向けての飛躍を表現しています。

平成26年度

当初予算総額246億657万円

内訳

- 一般会計 …………… 126億6千万円
- 特別会計（13会計） …… 75億27万4千円
- 企業会計（2会計） …… 44億4,629万6千円

3月定例会は、2月27日から3月19日までの21日間の会期で開催しました。前年度より0.5%増の246億円余となった26年度当初予算を中心に、条例の制定や改正、25年度の補正予算など44案件を審議し、全て可決しました。

代表質問及び一般質問は、10、11日の2日間に10議員が登壇し、市政について市長の考えをいただきました。

予算審査

財務常任委員会に付託された平成25年度補正予算（10案件）及び平成26年度当初予算（16案件）について、審査を行いました。

補正予算については、開会日当日と3月17日に委員会で審査を行い、採決では、全て原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、当初予算については、3月17日に慎重に審査を行いました。

採決では「平成26年度葦崎市一般会計予算」、「平成26年度葦崎市国民健康保険特別会計予算」、「平成26年度葦崎市後期高齢者医療特別会計予算」の3案件について、異議がありましたので挙手による採決の結果、可決すべきものと決しました。その他の案件については異議がなく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、本会議でも採決については同様の結果となりました。

【平成26年度当初予算】一般会計の主な新規事業等について

新規

■ 甘利小学校大規模改修事業 4,479万2千円

甘利小学校は昭和58年に建設され建築後30年経過しており、施設の安全、有効活用を図るための設計を行います。

改修工事は平成27、28年度を計画しています。

- 床面積：6,067㎡

■ 葦崎東中学校太陽光発電設備整備事業 2,376万円

施設に太陽光発電及び蓄電システムを整備し、普段は職員室用の電源として使用し、非常時は蓄電池を利用した非常用電源として活用できます。

またエネルギーモニターも設置し、生徒の環境教育にも活用します。

- 太陽光発電設備：10kw
- 蓄電システム：15kw

■ 子育てボランティア推進事業 38万9千円

地域子育て支援センターの指定管理者「NPO法人 子育て支援センターちびっ子はうす」と連携して子育てボランティア養成講座を開講し、子育てを支援するボランティアを育成して、市内の保育園、児童センターに派遣し、子育て支援の活性化やボランティア活動の促進等に努めます。

■ 産婦人科医院誘致助成事業 3,250万円

安心して、子どもを産み、育てる環境整備と婦人科検診を充実するため、市内に産婦人科医院を開設するための経費を一部助成します。

● 補助率

土地・家屋の取得経費または改修費の1/3
(上限2,000万円)

土地・家屋の賃借料の1/2
(上限250万円、5年間)

医療機器等の取得費用の1/3(上限1,000万円)

■ 高齢者肺炎球菌予防接種事業 合計 1,355 万 3 千円

肺炎や気管支炎等の肺炎球菌疾患にかかる危険性が高い高齢者に、健康な生活を営むためにワクチン接種を推奨します。

- 対象者：65 歳以上に 1 回
- 補助額：接種費用（概ね 8,000 円）の 1/2（上限 4,000 円）

■ 農商工連携推進事業 60万円

地域の小規模事業者、市、各種団体等と協力して、地域資源（特産品等）を活用し、全国規模で繰り広げられる新規事業展開の計画を策定するため、その活動に対して一部補助を行います。

- 事業実施主体：葦崎市商工会

■ 甘利山駐車場多目的トイレ設置事業 1,483 万 9 千円

甘利山広河原駐車場に多目的環境配慮型トイレを設置します。

- 男性…大 1・小 2 女性… 2 身障者用 1

■ 地区公民館エアコン設置事業 1,030 万 5 千円

生涯学習の地域拠点として利用されている地区公民館で、エアコン設備が備わっていない地区公民館の小会議室・和室等にエアコン設備を設置し、施設の環境整備を図ります。

- 11 公民館中、9 公民館

■ 市制施行 60 周年記念事業

〔実施予定事業〕

- 絵本『ニーラ』第 2 弾の制作・発行
- 「市勢要覧にらさき」の発行
- 「広報にらさき」縮小版の発行
- 記念式典
※記念講演…葦崎市名誉市民 大村 智 氏
- 葦崎市民の顔写真で描く「モザイクアート」
※葦崎市民の素敵な笑顔等の写真を公募して制作します。

拡 充

■ 高齢者タクシー利用助成事業 359 万 3 千円

公共交通の行き届かない地域に、平成 25 年度までモデル事業として実施していましたタクシー利用助成事業を本年度から通年、実施します。

- 対 象 地 域：穂坂町三之蔵、日之城、上今井、長久保、原地区
- 対 象 者：70 歳以上の方
- 自己負担額：片道 700 円

継 続

■ まちなか活性化推進事業 2,007 万 7 千円

平成 24 年度に策定しました、新「まちなか活性化計画」に基づく各種事業を展開します。

- 商店街空き店舗対策費補助
- 個店経営研修事業
- まちなか朝市開催事業
- ミニシアター上映事業

平成 26 年度当初予算（質疑の内容（抜粋））

総務費

問 コミュニティ FM ラジオ業務委託 450 万円の内容は？

答 駅前ニコリの 1 階にコミュニティ FM ラジオハケ岳のサテライトスタジオを誘致し、市や関係諸団体のイベント情報等や市民の声として番組を作成して発信します。予算は番組作成費を計上しています。

教育費

問 本市独自で指導主事が設置されるが、新しい指導主事に一番期待されるものは？

答 市内独自の課題、子どもたちの学校の状況に応じて必要な指導ができるので、学校教育に関わる極め細やかな指導ができると考えています。

請 願

☆ 要支援者の訪問介護・通所介護を介護保険給付から外さないことを求める請願

市民生活常任委員会では採択すべきものと決しましたが、本会議で審議の結果、不採択と決しました。

意 見 書

☆ 平成 26 年 2 月の大雪災害に関する意見書

〈意見書の提出〉

議員発議により国及び山梨県知事に対し、以下の事項を求める意見書を提出しました。

- 特別交付税の増額と弾力的な財政支援を行うこと
- 農業等の被害に関わる復旧経費に対し、支援を行うこと
特に高齢化しつつある農業経営者が再建をあきらめずに農業の衰退を招かず意欲を持てるよう、物心両面での支援を講ずること
- 雪害等災害に強い交通の確保のため、国道や県道の迅速な除雪と今後の道路整備計画の策定を行うこと

【規約・定款の変更】

■ 峡北広域行政事務組合理約の一部を変更する規約について

所管事務の見直しに伴う変更

■ 葦崎市土地開発公社定款の一部変更について

所有地を有効活用するための変更

【その他案件】

■ 市道の路線廃止及び認定について

市道の路線廃止及び路線認定には議会の議決を経る必要があるため、それぞれ原案のとおり可決しました。

- 市道 77 号線及び葦崎 91 号線の廃止
- 市道葦崎 77 号線、葦崎 91 号線、藤井 113 号線、旭 93 号線及び龍岡 79 号線の認定

■ 葦崎市職員の給与の臨時特例に関する条例及び葦崎市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例を廃止する条例

給料等を減ずる措置を講じた特例期間の終了に伴い、これらの条例が不要となるため廃止しました。

■ 再編保育園建築主体工事請負契約の締結について

「葦崎市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」の規定により予定価格が1億5,000万円以上の工事の請負は議会の議決に付すこととされており、可決しました。

- 工事場所
葦崎市大草町若尾地内
- 契約の相手方
内藤ハウス・深澤工業再編保育園建築主体工事特定建設工事共同企業体
- 契約金額
410,400,000円
- 契約の方法
一般競争入札

【条例制定(全部改正)】

◆ 葦崎市生活福祉資金等利子補給条例

生活福祉資金等の利子補給を行うことにより、貸付けを受けた者の経済的自立と生活意欲の助長促進を図るため、この条例を制定しました。

◆ 葦崎市若者定住就職奨励金支給条例

若者の移住及びU・Iターン就職希望者を積極的に本市に呼び込むことで、活力に満ちた魅力あるまちづくりを推進するため、この条例を制定しました。

◆ 葦崎市看護師修学資金貸与条例

葦崎市立病院の看護師の確保を図り医療体制の充実に資するため、この条例を制定しました。

◆ 消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備等に関する条例

消費税及び地方消費税の税率が引き上げられるに伴い、使用料等について、所要の改正を行いました。

(一部改正)

● 葦崎市職員給与条例の一部を改正する条例

大規模災害からの復興に関する法律の施行及び給与構造改革に伴う経過措置の減額等について、所要の改正を行いました。

正を行いました。
● 葦崎市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
国家公務員退職手当法の一部改正に伴い、早期退職募集制度の導入などについて、所要の改正を行いました。

● 葦崎市消防団条例の一部を改正する条例
消防団活動の充実及び強化を図るため、手当について、所要の改正を行いました。

● 葦崎市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例
消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正に伴い、所要の改正を行いました。

● 葦崎市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行いました。

● 葦崎市100歳祝金支給条例の一部を改正する条例
福祉施設の入所者にも100歳の長寿を敬愛するため、所要の改正を行いました。

● 葦崎市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例
社会教育法の改正に伴い、所要の改正を行いました。

平成26年 第1回定例会議決結果一覧表

賛否のあった議案

○賛成 ●反対（清水—議長を除く）

議案番号	件名	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	奥石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	野口紘明	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	議決結果	
議案第3号	平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
議案第10号	平成26年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	可決
議案第11号	平成26年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第12号	平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第31号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
請願第25-8号	要支援者の訪問介護・通所介護を介護保険給付から外さないことを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	○	●	○	○		不採択

全会一致の議案

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第1号	平成25年度一般会計補正予算（第4号）	可決	議案第25号	平成26年度青木御座石財産区特別会計予算	可決
議案第2号	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	議案第26号	生活福祉資金等利子補給条例	可決
議案第4号	平成25年度簡易水道特別会計補正予算（第2号）	可決	議案第27号	若者定住就職奨励金支給条例	可決
議案第5号	平成25年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	議案第28号	看護師修学資金貸与条例	可決
議案第6号	平成25年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	議案第29号	職員給与条例の一部を改正する条例	可決
議案第7号	平成25年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第30号	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第8号	平成25年度旭山恩賜林保護財産区特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第32号	消防団条例の一部を改正する条例	可決
議案第9号	平成25年度青木御座石財産区特別会計補正予算（第1号）	可決	議案第33号	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第13号	平成26年度簡易水道特別会計予算	可決	議案第34号	ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第14号	平成26年度下水道事業特別会計予算	可決	議案第35号	100歳祝金支給条例の一部を改正する条例	可決
議案第15号	平成26年度介護保険特別会計予算	可決	議案第36号	社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第16号	平成26年度介護サービス事業特別会計予算	可決	議案第37号	峡北広域行政事務組合規約の一部を変更する規約について	可決
議案第17号	平成26年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計予算	可決	議案第38号	市道の路線廃止について	可決
議案第18号	平成26年度水道事業会計予算	可決	議案第39号	市道の路線認定について	可決
議案第19号	平成26年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	議案第40号	土地開発公社定款の一部変更について	可決
議案第20号	平成26年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	議案第41号	平成25年度一般会計補正予算（第5号）	可決
議案第21号	平成26年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	議案第42号	職員の給与の臨時特例に関する条例及び議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例を廃止する条例	可決
議案第22号	平成26年度旭山恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	議案第43号	再編保育園建築主体工事請負契約の締結について	可決
議案第23号	平成26年度八森恩賜林保護財産区特別会計予算	可決	議案第1号	平成26年2月の大雪災害に関する意見書の提出について	可決
議案第24号	平成26年度戸沢日影半腹裾恩賜林保護財産区特別会計予算	可決			

平成26年 第1回臨時会議決結果一覧表

賛否のあった議案

○賛成 ●反対（清水—議長を除く）

議案番号	件名	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	奥石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	野口紘明	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	議決結果	
報告第3号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	承認
議案第44号	監査委員の選任について	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	同意

全会一致の議案

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
報告第1号	平成25年度一般会計補正予算（第6号）	承認	報告第2号	税条例の一部を改正する条例	承認

代表質問・一般質問

にらさきの まちづくり ここが聞きたい

10人の議員が市政を問う

代表質問及び一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。

詳細な内容は、" 韮崎市ホームページ→市議会→会議録検索 " でご覧いただけます。録画中継も配信しています。

代表質問

地域防災計画の見直しについて

質問 山梨県では、観測史上初めてとなる豪雪で深刻な被害が出たことを受け、県地域防災計画の見直しを行うこととしている。韮崎市でも早急に地域防災計画を見直すべきと思うが、いかがか。

答 市長 大雪も地震や風水害とあわせ、避けられない自然災害の一つとして認識した上で、今回の大雪への対応の検証を行い、除雪対策、帰宅困難者対策、農業等の被害を含め、より一層安全な市民生活の確保に努めるため、地域防災計画の見直しを行っていく。

質問 市内の農業用ビニールハウスや畜舎の倒壊破損はどの程度か。

答 農林課長 3月3日現在、倒壊が48件、101棟。一部損壊が1棟。畜舎等は3件で倒壊が1棟、一部損壊が1棟である。



田原 一孝 議員
[韮政クラブ]

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆平成26年度一般会計予算について

人口増加対策について

る。また、倒壊した農業用ハウスの撤去費や再建・修繕費等最大限の支援を考えている。

質問 ターゲットは若者の定住人口を増やすことだが、第6次長期総合計画では、人口増加策として、何に主眼を置いてアピールしていくのか。

答 市長 人口増加対策を進める上において、若者の定住人口を増加させることは、大変重要な施策であると認識している。このため、後期基本計画にも「子供を安心して生み、育てる」ための医療体制の充実や保育サービスの充実による「子供を伸び伸び育む環境整備」など、子育て世代にとって魅力のある施策や若者定住就職奨励制度の創設、新規就農者支援事業、持家住宅定住促進助成事業といった若年世代の雇用

スポーツ施設の改修及び管理について

や居住環境の充実強化を盛り込むとともに、都内にある「やまなし暮らし支援センター」との連携による効果的な情報発信にも努めていく。

質問 本市のスポーツ施設は、昭和61年かいじ国体以前に建設されたものが多く、特に市営総合運動場は、整備後30年を経過して老朽化が進んでいる。今後、韮崎市の情勢や財政状況を加味する中で、スポーツ施設整備計画と韮崎市第6次長期総合計画に基づいて、どのように整備を進めていくのか。

答 教育委員長 施設の安全性を最優先課題として、その利便性とともに、市全体の効率性も視野に、施設改修の内容・優先順位等を再検討し、教育委員会において「スポーツ施設整備計画」の策定を進めている。

今後、明年度からの第6次長期総合計画・後期基本計画において、市内スポーツ施設の再編整備について、具体的に事業を検討していく。



森本由美子 議員
[公明党]

その他質問

- ◆平成26年度予算編成と取り組みについて
- ◆産後ケアへの取り組みについて

消費税増税に対応した各種給付金について

【質問】消費税増税に伴う逆進性に対応した、低所得者や高齢基礎年金等受給者に対する臨時福祉給付金や子育て世帯に対する臨時特例給付金について、確実に対象者へ支給するための取り組みは。

【回答】市長 市税が確定する6月以降から申請を受け付け7月以降の支給を予定し、5月広報やホームページで周知を図り確実に進めてまいります。
【質問】ひとり暮らしの高齢者や申告していない方々への対策は。
【回答】福祉課長 戸別勧奨していく中で、民生委員の協力を得て漏れない給付をしていきます。

大雪への対応から見えた課題について

【質問】指定避難所である公民館には備蓄が必要である。また分館も避難所として指定し、最低限の備蓄が必要ではないか。
【回答】総務課長 分館については、一時避難所として地域で考えて頂いていくところですが、現在市内7か所の備蓄倉庫に備蓄しているが、合わせて今後、防災計画の中で検討していきます。
【質問】対策本部として、職員や住民からの情報を得る体制としてSNSの活用が必要ではないか。また、公民館へのインターネット環境整備が必要と考えるか。
【回答】総務課長 国、県、地域と私たちの情報を共有するためのツールの一つとして、考えていきます。

【質問】この5年間で無料クーポン券を配布した方で未受診者についてもう一度受診勧奨していく必要があると考えるか。
【回答】保健課長 子宮頸がん未受診者1,989人、乳がん未受診者2,170人に対して、再度無料クーポン券を配布し、再勧奨を行ってまいります。
【質問】鳥根県では、2007年から子宮頸がん検診へのHPV併用検査を導入したところ検査の精度が上がることで、早期発見につながる。また若年者の受診率が非常に上がり、25歳から34歳では4倍に増え、妊婦健診時や保険診療、職域検診を加えると70%にも達しているとの報告がありました。本市も早い導入を望むか。
【回答】市長 本年度から、日本臨床細胞学会において、臨床研究を重ねておりますので、推移を見守ってまいります。

一般質問



宮川 文憲 議員
[荏政クラブ]

その他質問

- ◆公共施設の維持管理について
- ◆いじめ防止基本方針策定について
- ◆市政60周年記念事業について

市政方針について

【質問】人口減少と少子高齢化の急速な進展が現実となり、新たな経済成長にむけた取り組みが不可欠であります。
活力ある地域社会を形成して行くには、社会構造の変化を踏まえた将来の財政負担の軽減等更なる効率化が求められるか。

【回答】市長 ご提言の各種施策については、第6次長期総合計画の基本方針の「健全な行政活動によるまちづくり」において、行政改革の推進とともに、成果を重視した効率的な行政運営の推進を基本方針に位置づけたところであります。
【質問】消費増税について
消費増税の引き上げに伴い26年度予算の歳出

【質問】新規就農者の育成確保と雇用創出を目的に年間150万円を5年間支給する青年就農給付金制度の支給状況と5年後自立就農しない場合でも返還等の罰則等は無いと伺っていますがこの対応と、経営開始計画に基づく報告事項の検証と指導について。
【回答】市長 先ず、青年就農給付金の支給状況は、本年度は、受給者12名で、650万円、明年度は、受給者17名で、2,475万円の見込みであります。
次に報告事項の検証と指導は、計画の達成状況、作業日誌、帳簿等の確認と検証を行い、不適切な場合は、県と第三者機関の検討委員会に対処して参ります。

再編保育園事業について

【質問】先ず、第2園の開園スケジュールと第3園・4園計画では、県内で民間保育園を運営する社会福祉法人から開園希望があると伺っているか。
【回答】市長 先ず、第2園の計画については、説明会を開催し、平成30年4月開園に向け説明をいたしました。
次に第3園・4園については、明年度子ども・子育て会議で議論を尽くしていただき、民営化等方向性を示して参る考えであります。

農業後継者対策について

【質問】新規就農者の育成確保と雇用創出を目的に年間150万円を5年間支給する青年就農給付金制度の支給状況と5年後自立就農しない場合でも返還等の罰則等は無いと伺っていますがこの対応と、経営開始計画に基づく報告事項の検証と指導について。



守屋 久 議員
[葦政クラブ]

除雪時の対応について

質問 除雪対策について本市での重機による除雪対象路線の判断基準をお示しください。

回答市長 本市の除雪対象路線につきましては、各町、各集落を結ぶ主要幹線道路及び交通量の多い都市計画道路など83路線約100kmを市内建設業者21社へ積雪5cm以上で除雪委託を行っております。これ以外の道路除雪につきましては、各地区での対応をお願いしているところであり、積雪30cm以上で重機のリースや業者依頼、手持ち農機などの活用に対し、助成をしております。

七里岩地区における農業基盤整備について

質問 本地区への農業基盤整備事業について今後における課題と、特に排

水路整備に関する状況をお示しください。
回答市長 七里岩地区における水路整備につきましては、その一部を県が事業主体の畑地帯総合整備事業として、実施することを考えております。事業実施に向けての課題と致しましては、

ほ場整備の受益者の同意、農道、用排水路の整備に係る用地の確保等が主なものであります。なお、他の水路については、県整備事業と並行して、市の水路整備事業で実施してまいります。

防犯カメラの設置について

質問 駅前整備計画に伴いシエルターや屋根付き駐輪場といった場所への防犯カメラ設置についてお示しください。

回答市長 現在、葦崎駅周辺の防犯カメラは、市民交流センターニコリの正面に2ヶ所及び地下通路に設置してあります。防犯カメラは、犯罪の抑止や捜査に有効であり、設置効果は大きいものと考えております。通行者や利用者が安心して駅前広場を利用していただくよう設置に向け検討し

てまいります。
薬物乱用防止に向けた取り組みについて

質問 青少年に向けた啓発強化と薬物教育の徹底について、本市における取り組みについてお示しください。

回答市長 平成24年度における薬物乱用検査者は、国内・県内において、横ばい傾向にあるものの、全国では大麻関係の検査者の約48%を29歳以下の若者が占め、また近年、合法ハーブなどと称して販売・乱用される薬物が多様化しており、若者への広がり懸念されております。薬物乱用防止については、家庭と地域における啓発強化と規範意識向上による薬物乱用未然防止の推進が必要との考えのもと、県においては、薬物乱用防止指導員の委嘱、研修、街頭キャンペーン、テレビ・ラジオ等を通じた啓発活動を展開、また、相談窓口を保健所等へ常設しております。本市におきましても、県と合同による街頭キャンペーン、また、小中学校における薬物乱用防止教育等を実施しております。



高添 秀明 議員
[葦政クラブ]

子育て支援事業について

質問 私は、現在の少子化の流れを止め、近隣の市町村から「子育てをすんなら葦崎市で」と転入して来るような更なる施策の展開を図るべきであると思っております。

回答市長 本市の「葦崎市子ども子育て会議」で、有効な子育て支援策を検討していただき、速やかに実施すべきと考えます。見解を伺います。

回答市長 明年度、子ども・子育て支援事業計画を策定いたします。

この計画策定にあたって児童の保護者にアンケート調査を実施し、サービスの満足度や利用意向を伺ったところであり、この調査結果を踏まえ、有効性の高い子育て支援策をお示ししたいと考えております。
質問 今回は3点の事業化を提案させていただき

- その他質問
- ◆下水道について
1)普及状況について
2)今後の整備計画について
 - ◆保育園の再編整備について
 - ◆県道茅野北杜葦崎線(新府バイパス)建設に伴う周辺整備について

議員のおっしゃるような、大胆で有効な子育て支援策をきつと提案してくだと思ひますので、そこに期待をいただきたいと思います。

また、保育料につきましては、市の財政状況等を踏まえ、現状出来る限りの軽減処置を行っている状況でありますので、ご理解願います。
回答市長 1点目は、小中学校の給食費の100%公費負担化です。
回答教育課長 県内で無料化しているのは、早川町で、給食費のみならず、修学旅行費・教材費等も無料化という政策を取っております。

今後、市内で、一つの子育て支援策としてみんなで話し合っていきたいと思ひます。

質問 2点目は、保育料の無料化であります。

回答市長 義務教育で、小中学校は義務教育で、授業料は徴収していません。高校生は、2010年より授業料が無料となりました。これを機会に保育園の保育料も無料にしたらいかがでしょうか。

回答福祉課長 先ほど市長答弁にもありましたとおり、明年度、子ども・子育て会議で新たな子育て事業計画を策定させていただきます。

回答市長 義務教育以外のことに対しては、今のところ、そういった考えは持っておりません。



興石 賢一 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆定住促進に対する取り組みについて
- ◆老後も安心して暮らせるまちづくりの取り組みについて
- ◆工業団地周辺の交通渋滞対策について

魅力あるまちづくりについて

質問 これからの魅力あるまちづくりには若い人たちの発想・考えが重要かと思いますが、我が市では今後どのように取り組んで行くのかお伺いします。

答 世代の魅力ある提案を今後のまちづくりに反映してまいりたいと考えております。

質問 魅力あるまちづくりに子育て支援も重要な施策ですが、若いお母さん・お父さん方が安心して子育てができる環境づくりには当然財源が伴わなければならぬことは解っておりますが、見解を求めます。

答 今後の子育て支援の取り組みについては、子ども・子育て会議に意見を求め、十分に議論を尽くした上で子ども・子育て支援事業計画を策定し実行性のある子育て支援策をお示しする考えであります。

御勅使工業団地周辺の環境整備について

質問 工業団地とは名ばかりに、当初は一つの企業が進出し、その後ぼろぼろと工場が建ち、

現在のようになりましたが、計画的な道路や水路ではなく、周辺は交通渋滞や水路の増水等の事象は多数発生しております。早急に対策を取らなければと思いますが、見解を求めます。

答 御勅使工業団地周辺の道路・水路についてはであります。幹線道路は整備済とされておりますので、今後とも適正な維持管理に努めてまいります。その他の道路・水路につきましては、地元自治会の要望等を踏まえ、整備について検討してまいります。

割羽沢川の農業用水取入れについて

質問 今まで何度も質問しておりますから趣旨はわかっておりますが、現在の進捗状況をお伺いします。

答 県及び南アルプス市に確認したところ、南アルプス市に受益地のある野牛島用水につきましては明年度より調査を行い、平成28年度から県営畑地帯総合整備事業で実施予定と伺っておりますので、議員ご指摘の野牛島用水取入れに伴うよどみは解消されると考えられております。



秋山 泉 議員
[共伸クラブ]

その他質問

- ◆市景観条例について
- ◆雪害対策について

観音山公園について

質問 平和観音像のある観音山公園周辺の市道葦崎1号線の拡幅工事が完了し、余裕ある対面交通が可能となりましたが、観音像前の急カーブは狭く危険です。歩行者に対する安全性、快適性が不十分であり、訪れる観光客にとっても早急な対策が必要です。

答 葦崎1号線沿いの歩道設置については用地確保が困難なため歩道設置は考えていませんが、グリーンベルト等、今後の交通状況を見ながら検討してまいります。

球児の像について

質問 変動する時代の中、半世紀の歴史背景をもつ「球児の像」を駅前から中央公園のスポーツ広場に移設し、市庁舎前の武田信義公像を駅前広場に移設したらどうでしょうか。

答 球児の像は、昭和50年8月、本市で開催された第10回全国高等学校総合体育大会で優勝した葦崎高等学校サッカー部の栄誉を称え、葦崎須玉ライオンズクラブより寄贈されたものです。武田信義公の騎馬像は、市庁舎建設に伴い、三井金属㈱から寄付いただいたものであり、条件として庁舎前に設置されました。それぞれ歴史背景のある像であり、時間をかけて結論を出してゆく問題であると考えます。

小中学生の運動不足について

質問 昨年、文部科学省が小学男女5年生と中学男女2年生全員を対象に実施しました「体力・運動能力調査」の結果に運動しない子どもが増えていることが表れています。体力低下は子どもの健康に悪循環を引き起こす要因になります。対応策を

求めます。
答 学力向上の重視傾向、インターネットの普及等から、子ども同士の活動が減少した点などが原因として考えられますが、1校1実践活動として、休み時間や体育の時間の前などに工夫した各種の運動を取り入れ、体力の増強を図っています。

道徳教育の教科化について

質問 いじめ対策の一つとして、学校教育の真の中核として道徳教育の教科化が必要とされていますが、このことによるメリット、デメリット等本市の見解を求めます。

答 教科化は、化し、全国一律に指導することを狙いとするもので、より良い教科書作り等が期待されますが、教科書を使用することが義務づけられ、子どもの状況により必要な教材、独自の教材使用が制限され、多様な考えを教えることができなくなるとの懸念もあります。
今後の国の動向を注視する中で、対応してまいります。



清水 康雄 議員
[共伸クラブ]

鳥獣害対策について

質問 イノシシ、サル、シカによる被害は年々増加傾向にあります。電気柵の修理に材料を支給しているが、支柱及び金網の設置にはある程度の技術が必要であり、地域の労力では設置が困難であります。設置に必要な経費の一部を助成する考えはあるか。

回答 原材支給による電気柵の機能維持・強化については、地域ぐるみで獣害対策に取り組むという観点から、地域ぐるみで施工していただいているところであり、技術的に難易度の高い施工については、市の発注も含めて、今後検討してまいります。

道路行政について

質問 国道20号線葦崎消

その他質問

- ◆遊休農地の利用促進について
- ◆公民館の耐震計画について

防署西交差点から七里岩トンネル西交差点までの四車線化を国に要望すべきであるが、市の考えは、次に国道甘利山公園線の葦崎工業高校から旭バイパスまでの拡幅を早急に県に要望すべきと思うが。

次に道路の除雪について、積雪が30センチメートル以上になった場合には、市の補助金交付要綱により、地区が行う除雪に対して助成しているが、積雪量による助成金の額を見直す必要があると思うが、市の考えは、

回答 国道20号線の4車線化については、渋滞解消や交通安全の確保に向け、「葦崎地域交通円滑化検討委員会」を立ち上げ、小規模かつ短期間で整備効果が発揮されるような対策を検討していく予定であります。次に国道甘利山公園線についてであります。1期区間として工業高校

東から老人福祉センター交差点までを、明年度に用地調査及び測量の実施、平成27年度に用地買収、平成28年度より工事着手と伺っております。

次に除雪対策についてであります。2月14日、15日の大雪については観測史上初の積雪深となりましたので、倍額として助成する予定であります。補助額の見直しについては、今回の大雪に伴う対応や問題点を検証する中で検討してまいります。

統合後の保育園の跡地利用について

質問 保育園再編整備計画に基づき、田野・旭・竜岡の3保育園を統合し、平成27年度の開園に向けて今年度より工事に着手いたしますが、統合後の各保育園の土地及び建物の利活用のご考えは、

回答 統合後の各保育園の土地及び建物の活用については、普通財産に所管替えをした後、地域の要望等を踏まえた中で庁内の公有地利用検討会において検討してまいります。



小林恵理子 議員
[日本共産党]

大雪への対応・教訓と雪害対策

質問 除雪のあり方、避難所開設、独り暮らし高齢者や孤立世帯への対応、地域との連携等関係部署すべてから今回の対応を検証し、教訓として今後に活かしていくべきです。広報の手段としての葦崎市ホームページの広報に不十分さがあり、改善すべきです。

回答 農業用ハウス等の被害が発生しています。この被害で離農する状況を生まなため最大限の支援をすべきです。

回答 今回の大雪への対応を検証し、雪害を想定される災害とするなど、地域防災計画に反映してまいります。インターネットは、速やかな情報発信手段として有効でありますので、その運用について改善してまいります。農家負担を軽減する最

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆教職員の労働状態改善について
- ◆旧県立葦崎射撃場の土壤汚染撤去について
- ◆公共料金への消費税転嫁について

大限の支援策を講じている考えであります。農業用ハウス以外の農業被害についても支援策を検討してまいります。

重度障害者医療窓口無料の継続

質問 県が重度障害者の医療費窓口無料を廃止すること、0歳から中学3年生までの重度障害の子どもは、他の子どもは窓口無料なのに、重度障害者医療費助成が優先として、11月から窓口負担を強いることになりました。乳幼児期から医療ケアを必要とし、障害の軽減に定期的な通院治療が必要な子どもたちに負担を強めることになりました。市独自にこうした事態を回避する措置を取る考えはありますか。

回答 障がいをお持ちのお子様も含め、ご負担をお掛けしますが、厳しい財政状況の中、医療

回答 市独自の措置は、最初の直接的な経費だけで500万円くらいになると思います。

市独自の回避措置は、財源の確保が難しいので、考えておりません。

質問 窓口無料ではなくなって、償還払いになってしまってお子さんは何人ぐらいいますか。

回答 3月現在、県事業就学前の方が5名、市単事業で義務教育年齢の方が24名、計29名です。

質問 市の特別措置で窓口無料にするのどのような財源が生じるのでしょうか。

回答 払うことができない金額ではないと思いますが、再考できませんか。



藤嶋 英毅 議員
[経世クラブ]

その他質問

- ◆北西小通学路歩道の改修
- ◆電気自動車充電設備の設置
- ◆大雪被災等の実績と補償
- ◆産科・産婦人科医確保の奨学金制度の開設

要支援1・2が介護保険サービスから外され、市町村事業へ移されることへの問題について

質問 介護保険見直しでは、国がサービス水準に責任を持つてきた要支援者向けの訪問介護と通所介護が、市町村に丸投げされ、2017年4月までですべての市町村が、代わりの事業を実施しなければなりません。

市町村には「費用の効率化」が課せられ、事業費の上限が設けられます。毎年5〜6%の割合で増えている費用を、75歳以上の人口増加率に合わせ、3〜4%の伸びに抑えます。

市町村は、これまで通りのサービスを提供しようとする以上限を超えてしまい、持ちだしを余儀なくされます。逆に上限内に抑えようとする以上

サービスを切り捨てるしなく、住民の反発は避けられません。市町村財政力の違いによってサービスに格差が生じることになります。全国町村会の大会で、「要支援者への支援見直しにあたっては、町村の財政状況等により事業の実施に格差が生じないようにする」とことを求めました。

今通常国会で、4月からから論議が始まると予想されます。このように問題の多い見直しで、高齢者は安心して生活ができると思うのか、市長は、関係機関に異議を述べるべきであると思うが、市長の所見を伺います。

答 市長 今般の制度の見直しは、安定的かつ持続可能な社会保障の仕組みを構築するため、国において検討が行われてまいりました社会保障制度改革の結果だと考えております。

関係課によるワーキンググループを立ち上げ、今後示される国のガイドラインを基本に検討を進め、サービス利用者の日常生活に大きな影響が出ないように、施策の推進を図ってまいります。

質問 要支援1・2の訪問・通所介護の介護保険外しが制度改革になるのか。

答 介護保険課長 要支援1・2の予防訪問介護と予防通所介護の移行につきましては、新たな地域支援事業により、要支援者の状況に応じた多様なサービスを各市町村で展開していくこととなりますが、全国一律の定義ではなく、各市町村の実情に合わせて実施して行くことも含めた中で、移行が進められております。移行後も、要件を満たせば、同様のサービスを受けられることが見込まれる他、新たなサービスも生まれるわけでございますので、選択が可能となります。多様なサービスを利用して、地域で暮らしていける支援が可能だと考えております。

委員会活動報告

総務教育常任委員会

3月定例会会期中の委員会

付託された9議案について審査し、全て原案を可決しました。

《現地視察》

2月14日を計画していましたが、降雪により延期しました。

市民生活常任委員会

3月定例会会期中の委員会

付託された5議案について審査し、全て原案を可決しました。また請願第2518号は採択すべきものと決しました。

《現地視察》

2月21日 デイサービスセンター(大草町若尾)、ドリム工房(本町1丁目)及び静心寮(藤井町南下條)を視察

産業建設常任委員会

3月定例会会期中の委員会

付託された3議案について審査し、全て原案を可決しました。また平成26年2月の大雪災害に関する意見書の提出について提出すべきものと決しました。

《現地視察》

2月5日 水路工事(穂坂町日之城、山日新聞印刷センター(穂坂工業団地内)、葦崎1号線・観音山公園整備(中央町)及び下水道工事(旭町上條南割)

を視察

《豪雪被害の確認》

2月20日 農業用施設、道水路等の被害状況について関係課から現状報告を求め、対策を要望しました。また今後の議会活動について協議しました。

議会改革推進特別委員会

《委員長報告》

平成23年12月14日に設置した当委員会は、葦崎市議会の改革を推進するため、さまざまな角度から調査研究を行い、諸課題について定例会32回、班会議28回を開催し、協議を続けてまいりました。

そして平成25年3月19日、第1回市議会定例会において、市民誰もが議会に参加できる環境整備に努め、市民の福祉向上、公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とした「葦崎市議会基本条例」を議決しました。

また、議会運営における代表質問制の導入や条例案件等の委員会付託、議案等に対する議員の賛否の公表、市民との意見交換の開催など重要諸課題を解決し、議会の改革に繋げてまいりました。

議会改革は永遠のテーマであると認識しておりますが、今回の活動で一定の成果を収めたものと結論づけましたので、本委員会を終了させて頂いたものであります。

第1回

(5月)

臨時会

5月1日(会期1日)に召集され、専決処分の承認、人事案件の同意など、9案件を審議しました。人事案件について異議がありましたので、起立による採決の結果、同意すべきものと決し、全て原案のとおり可決して閉会しました。

【報告案件】

■ 専決処分の承認を求めることについて

- 平成25年度韮崎市一般会計補正予算(第6号)
- 韮崎市税条例の一部を改正する条例
- 韮崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■ 繰越額の報告

- 平成25年度韮崎市一般会計予算繰越明許費に係る歳出予算繰越額
- 平成25年度韮崎市一般会計歳出予算に係る事故繰越額
- 平成25年度韮崎市簡易水道特別会計歳出予算に係る事故繰越額
- 平成25年度韮崎市水道事業会計歳出予算に係る建設改良費の繰越額
- 平成25年度韮崎市水道事業会計歳出予算に係る事故繰越額

【人事案件】

日向亘監査委員の逝去に伴い、後任者の選任について地方自治法の規定により、市長より同意を求める提案がなされ、次の方を選任することに同意しました。

樋口 正幸(神山町)

「韮崎駅前広場がリニューアルしました」

シェルターの建設、駐輪場の拡充、照明施設の整備など設備面の充実や、歴史、自然景観の保全など、市民の貴重な意見にも配慮した改修工事が行われ、自然と近代的な雰囲気が調和した、利用者にも優しい、新しい駅前広場が完成しました。



編集後記

本年2月14、15日の大雪は、本県の自然災害史に残る豪雪であり、市民生活への多様な影響や農業用施設などに大きな被害をもたらしました。今回の豪雪で、災害時における自助・共助は家庭や地域を守るために欠かせないものであること、また的確な情報の受発信の大切さを、改めて認識しました。

また、本年は市制施行60周年の記念すべき年でもあります。今後も市民皆様のご意見等をお聞きしながら、市の一層の躍進のため、意を一つにして議会活動を行ってまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

議長 清水 賢一
副議長 西野 賢一
委員 藤野 賢一
委員 興石 長博
委員 小田原 賢一
委員 小林 伸吉

- 6月 5日 開会
諸報告
市長所信表明
- 16日 一般質問
17日 一般質問
18日 議案審議
財務常任委員会
19日 各常任委員会
23日 議案審議
委員会報告
閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。

※委員会を傍聴する場合には事前に申し込んでください。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

6月定例会日程〈予定〉